

筑波地域包括支援センター

かわら版

令和2年3月1日 第23号

☎029-828-5806



ようやく暖かい日が続くようになりました。3月と言えば梅とお雛様。

お雛さまには京雛と関東雛があるはご存知ですか？

その違いの一つに、お内裏さまとお雛さまの左右の位置の違いがあります。

お内裏さまの位置が、京雛は向かって右、関東雛は向かって左になっています。

日本古来から、左は右より格が高いとされ、お殿さまはお姫さまの左、つまり向かって右にお座りになります。

よって京雛は、古来の慣わしに従ってお殿さまが向かって右側にお座りになっています。現在一般的な関東雛は、

向かって左にお殿さまがお座りになっていますが、なぜ関東雛はお殿さまが左側になったのでしょうか。

それには大正天皇が関係しているとされています。明治時代、西洋の流れを受けて国際儀礼である「右が上位」の考え方が取り入れられるようになりました。

大正天皇が即位の礼で、洋装の天皇陛下が西洋のスタイルで皇后陛下の右に立たれた事からこの風習が広まったとされています。

とされています。

お雛様も、このような豆知識があってみると面白いですね。



お薬手帳はお持ちですか？

薬局でお薬をもらう人の今や 7 割以上がお薬手帳を持参しています。先の東日本大震災の大混乱の中、被災された方々へお薬をお渡しするときに、お薬手帳は大変役にたちました。

現在服用している薬・副作用・アレルギー歴などがお薬手帳により容易に確認できたためです。この経験から厚生労働省では、お薬手帳の普及を推進しています。

ここ数年で、関東地区でも直下型地震が起こると報道されています。ぜひとも健康保険証と共にお持ちいただくことをお奨めします。

複数の医療機関を受診する時や、転居した時・旅行する時・救急病院を受診する時など、『お薬手帳』を見せるだけで、お薬のことをわかってもらえます。そのためにも「お薬手帳」は病院・薬局ごと分けずに 1 冊にまとめましょう。

新型コロナウイルス感染症が全国的に流行しています。手洗い、うがいに努めるとともに、人混みは避け、不要不急の外出は控えるようにしましょう。